会　　議　　録

1　会議の名称	議会運営委員会
2　日　　時	令和　５年　６月　１６日（金） 午後　　１時５８分　　開会 午後　　２時１５分　　閉会
3　場　　所	全員協議会室
4　出　席　者 （９人）	米谷　政久　　今野　康敏　　山田　昌紀
	川添　康大　　大垣　真一　　夛田　　嚴
	安藤　玄一　　萩原　鉄也　　大山　　学（議長）
5　欠　席　者	なし
6　委員外議員	岸　　圭介
7　説　明　員 （なし）	
8　傍　聴　者	なし
9　事　務　局	局長　　参事（兼）次長　　主査
１０会議のてんまつ	別紙のとおり

議　　題　１　議会改革について
（１）まちづくり検討会議について

午後１時５８分　開会

○委員長【米谷政久議員】　　本会議に引き続き、お疲れさまです。ただいまから議会運営委員会を開会いたします。
　ここで、議長より御挨拶をお願いいたします。
○議長【大山学議員】　　本会議に引き続き、お疲れさまです。今回は、議会運営委員会の中で、まちづくり検討会議についてを検討していただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
　以上です。
○委員長【米谷政久議員】　　それでは、初めに、議会改革について、まちづくり検討会議についてを議題といたします。
　６月５日の議会運営委員会勉強会で、会派に持ち帰り、意見を取りまとめていただくこととしておりましたので、御意見をお伺いいたしたいと思います。
○委員【大垣真一議員】　　創政会としても話し合いまして、名前はさておき、まち検に関しては、引き続き継続して、何かしらかの積極的な活動をやっていくべきだろうという結論であります。ただ、いろいろ皆さん課題は言われていましたので、しっかりと幹事会という形で組織を設けていただいて、そこでしっかりともみながら、形あるものにしていくということを踏まえて継続したいと思っています。
○委員【安藤玄一議員】　　いせはら未来会議でも同様ですけれども、まず、ここで発言するのは、やるかやらないかと、名前を変えるかということだと思いますけれども、それでよろしいですか。そのほかにありますか。（「名前を変えるのは」「やるか、やらないかです」の声あり）やるか、やらないかだけですか。じゃ、やる方向でお願いします。
　以上です。
○委員【川添康大議員】　　うちも、一応やる方向で。
○委員【山田昌紀議員】　　やる方向で。
○委員【今野康敏議員】　　我々公明党いせはらとしても、まず、まち検の前に議会改革、これは本当にやっていくべきだという認識になっています。その中で、いろんな細かい一人一人の議員の質を上げていく活動は、一人一人それぞれ方向性も若干違うところもありますので、それは今までどおり、我々としてはやっていきたいというふうになりました。そういう中で、まち検の活動については、意見としては、１つは、どうしても各常任委員会の委員長、副委員長にお任せになってしまうような部分が、いろんな部分で、今まで私も４年間経験させていただいて、あったと思います。そうではなくて、２０人の議員が、皆さんが自分事として議会改革の一つの大きな取組としてのまち検をぜひやっていくべきだという

形。それと合わせて、できれば提言とか、行政、執行部に対して意見をしっかり取りまとめてやっていく、そういう意見に達しました。

以上です。

○委員【山田昌紀議員】　　１ついいですか。やる方向でと言ったんですけれども、これまでの過去４年間は、コロナ禍で本当に動きづらかった。逆に正副委員長はすごい大変な思いをしたと思います。でも、その前の４年はもっとすごい積極的に動いていたんです。コロナ禍でももちろんないし。だから、４年間が動かなかったというのは、もうコロナ禍。コロナ禍でも、もちろんできたことはあると思うんですけれども、その前の４年間は結構、当時総務常任委員会の委員長だった萩原委員とかも一生懸命やっていたし、僕も教育福祉常任委員会委員長でちゃんとやっていたし、そのほかの議運の委員長もやっていたので。議会改革もちゃんとやっていたし。

この４年が多分、今野副委員長とかは、この４年間しか知らないわけじゃないですか。その前の４年間は結構積極的に動いていたんです。だから、そういうことも、今までの先輩議員にも聞いていただいて、この前の４年間が駄目だったから、駄目、変えなきゃいけないじゃなくて、その前の４年間はちゃんとやっていたんだというのもちゃんと頭に入れておいていただいて。結構稼働をうまくするように、私も委員長としてやったつもりだし、当時。それは、中山副議長に聞けば、多分分かると思います。ですから、今の皆さんの意見を聞く限りでは、まち検に対してはやる方向だと思うんですけれども、この４年間を見るのではなくて、全体的な、もうやめてしまった、当時の相馬活性化委員会委員長が立てたもの、それを引き継いで４年間やったその歴史というものも頭に入れて、できれば前に進めていきたいなと私は思うんですが。よろしくお願いします。

○委員長【米谷政久議員】　　よろしいですか。それでは、ほかにありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長【米谷政久議員】　　それでは、お諮りいたします。まちづくり検討会議を継続することについて、賛成の方の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○委員長【米谷政久議員】　　挙手全員。よって、まちづくり検討会議については継続することに決定いたしました。

なお、議長より内容について、文書が提出されておりますので、御説明をお願いします。それでは、議長、御説明お願いいたします。

○議長【大山学議員】　　それでは、今、お配りしたペーパーについて、補足説明させていただきます。

まず、１ページ目ですけれども、まちづくり検討会議の在り方ということで、

前回、私が口で言ったことを文章にしてまとめたというところで、今まで多分８年間、いろいろな提言を出してきました。これにつきましては、委員会の中で十分議論を重ねて、問題を抽出して、そして提言書にまとめるという行為の中で、今までにない常任委員会の機能を高めるということにつながってきたのかなとは思っております。ただ、提言書ありきで進めるために、その提言内容というのを硬直化して、言葉はいいか悪いかは別にして、薄いものになっているのではないかということで、前回の反省も含めて、ここら辺で少し内容というか、行動を変えていこうかなとは思っています。

先ほど皆様の御同意を得た中で、まちづくり検討会議は継続して設ける。これは、皆様、御同意していただきました。続きまして、幹事会を設置して方向性を議論。これは、この後のことなので、２ページ目にスケジュールというか、細かなことを書いてあります。私がやりたいというか、皆さん取り組んでいただきたいのは、やはり前回のタウンミーティングみたいに、来てくれよ、我々の取組を発表するよではなくて、積極的に市民、委員会によって所管が違うでしょうけれども、各種団体等に自ら出向いて、意見交換なり意見聴取を行う場を設けてほしいなというところです。それから、議論を深めた中で、もし提言書、また意見書が必要と認められたら、もちろん委員会の持っている権能でそれを行う。それから、各常任委員会の視察は、常任委員会の判断で、提言にとらわれずに、議論の内容にとらわれずに柔軟に対応していただければいいのかなと思っております。

２枚目に行きます。大まかなスケジュール感としてですけれども、まず、今は６月なので、定例会が終わったら、まちづくり検討会議を立ち上げていただきたい。運営組織は、前回の組織を世襲した中で、運営責任者、全ての責任は議長でありますし、その中の運営に関しては副議長が行っていただく。それから、幹事会を設置して、それは副議長及び各常任委員会の正副委員長で構成をする。委員会としては、議会運営委員会、この組織ですね、それと総務常任委員会、産業建設常任委員会、それから、教育福祉常任委員会、議会広報委員会のメンバーで行っていただきたい。副議長に幹事長をお願いしたいということで、その中の取組として、各種団体との意見交換を、先ほど言ったように、委員会として積極的に出向くような姿勢を示していただきたい。それから、常任委員会の中での議論及び意見交換を通じた、１年目としては、問題点を抽出したり、問題点の共有を常任委員会の中で共有していただきたいというところです。

２年目の取組といたしまして、各団体との意見交換はもちろん必要に応じて随時継続していただきたい。１年目で抽出した問題点を中心に議論を重ねて、そこで、先ほど言ったように提言、意見書の提出が必要と考えたら行う。それから、最後に、今までは提言書を提出するという大きな目標があったので、それに向かって、皆さん努力を重ねていただけたんですが、もしその大きな目標がないと、極端な話、何もやらなくても、そのまま過ぎてしまう可能性があるので、最終的には１２月の定例会後、これはスケジュールがまだ確定した段階ではないんですが、全議員に対して、委員会の活動、議論等を発表していただきたいなというと

ころです。そして、全議員が各常任委員会で議論を重ねた問題点を共有していただきたい。それから、１２月にそれをやれたとしたら、今度、次の２年間の検証を、まち検の在り方についての検証、検討を、次期につなげるために、今の幹事会としてやったところで検討していただきたい。

実は本当は前期の段階でこのようなことをやるよというような方向性を持っていたら、今の段階でスタートしているんですが、前期に、コロナとか何かいろいろ諸事情があって、次のまち検の在り方というのを深く詰めてこなかったので、今の２年は積極的に今のことをやって、もし何らかの問題があったら、そこで修正して、次の２年、実のあるまちづくり検討会議にしていただきたいなというところと、ここに書き忘れてしまったんですが、過去４回、提言書が出ております。その問題点、提言書の内容を、各常任委員会で出した提言の内容で結構なんですけれども、そこを皆さんに、過去こんなことをやったよということを共有していただいて、もしそのフォローというか、継続的に取組が必要であれば、それはそれで議題として上げていただいて活動していきたいなと思っています。

取りあえず、以上です。

○委員長【米谷政久議員】　　説明は以上ですが、何か御質問のある方。

○委員【山田昌紀議員】　　本当に、そもそも、今、ここで、皆、継続という話になったわけじゃないですか。だったら、もうすぐ議長の命で、正副委員長会議で、また、まち検なりを立ち上げていただければ、別にここで、もう今、やる、やらないは決まったわけだから、今、議長の説明していただいたことなんて、申し訳ないですけど、ここで必要ない。だったら、もう違う議会改革ということについて、議会運営委員会という委員会ではなくて、勉強会でそれをやったほうがいいんじゃないかと思うんですよね。今、せっかく議長が説明していただいたんですけれども、これはすぐに正副委員長会議、なおかつ、まちづくり検討会議を立ち上げていただいたほうがいい、正副の。そこで多分話し合うべきことなのかなと。

○議長【大山学議員】　　当然そうですけれども、ただ、今回、議会改革の一つとしてまち検の在り方というのを俎上にのせているわけですから、まず、これについての意思の疎通というか、コンセンサスは、内容は、ここで皆さんに共有していただかなければならないので、この説明なしに、じゃ、幹事会を立ち上げてというよりは、まずは皆さんに説明して、すぐ７月に立ち上げるのであれば、立ち上げます。

○委員長【米谷政久議員】　　この議会運営委員会に諮問されたので、文書によって説明も受けましたので、皆さんにお諮りしたかったので、この議題を上げさせていただきましたので。（「何を諮るんですか」の声あり）やる、やらないを諮って、この後、またありますので。（「何をやる、やらないのか」の声あり）次、進めて。（発言する者あり）まだ進めますので。なお、今後の具体的な進め方については、まちづくり検討会議幹事会を開催し、まちづくり検討会議について協議していただきたいと考えますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長【米谷政久議員】　　御異議ありませんので、まちづくり検討会議幹事会を開催していただくことといたします。

以上をもちまして、本日の議会運営委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後２時１５分　閉会

上記会議録は事実と相違ないので署名する。

令和５年６月１６日

議会運営委員会
委員長　米　谷　政　久